



2024年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年9月13日

上場会社名 ベルグアース株式会社

上場取引所 東

コード番号 1383 URL <http://www.bergearth.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO兼COO (氏名) 山口 一彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理本部長 (氏名) 野本 幸代

TEL 0895-20-8231

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年10月期第3四半期の連結業績（2023年11月1日～2024年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第3四半期	4,628	△3.2	△151	-	△127	-	△42	-
2023年10月期第3四半期	4,779	13.0	△91	-	△73	-	△40	-

(注) 包括利益 2024年10月期第3四半期 △37百万円 (-%) 2023年10月期第3四半期 △34百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第3四半期	△26.33	-
2023年10月期第3四半期	△27.05	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年10月期第3四半期	5,725	2,028	34.5
2023年10月期	5,672	2,082	35.9

(参考) 自己資本 2024年10月期第3四半期 1,976百万円 2023年10月期 2,033百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2024年10月期	-	0.00	-	-	-
2024年10月期（予想）	-	-	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年10月期の連結業績予想（2023年11月1日～2024年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,100	0.5	90	17.5	98	△8.1	77	△1.3	48.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年10月期3Q	1,610,500株	2023年10月期	1,610,500株
② 期末自己株式数	2024年10月期3Q	13,175株	2023年10月期	13,174株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年10月期3Q	1,597,325株	2023年10月期3Q	1,512,838株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フローに関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、社会経済活動の正常化が進む中で、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の増加など、各種政策の効果もあって緩やかな回復が続くことが期待されております。一方で、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、中期経営計画で掲げた長期ビジョンの基、野菜苗・苗関連事業の基盤強化のための生産・販売体制の再構築、多角化・多品目化へ向けた農資材の販売及び購買力強化などに取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、前連結会計年度における、伊予農産株式会社の決算期変更の影響もあり、売上高は4,628,109千円と前年同四半期と比べ151,595千円(3.2%)の減収となりました。損益面につきましては、営業損失151,641千円(前年同四半期は営業損失91,718千円)、経常損失127,189千円(前年同四半期は経常損失73,840千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失42,056千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失40,920千円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

(野菜苗・苗関連事業)

当事業部門におきましては、売上が伊予農産株式会社の決算期変更の影響により前年同期から微増となりましたが、前連結会計年度より原材料等の製造コストが高騰する中で、適切な価格への見直しが進んだことに加え、全国各地にある自社農場及びパートナー農場の生産拠点での生産体制及び配送体制を活かした営業推進を行ってきたことにより、特に、九州、関東、北海道・東北地域へ向けたスイカ・メロン苗の売上が増加いたしました。また、ホームセンター向けの春季の家庭菜園につきましては、ルート配送方法を強化したことなどにより売上増加に繋がりました。

損益面につきましては、暖冬の影響により、12月以降の重油使用量や電力使用量が減少した一方で、生産量の増加に伴う生産部門の労務費等の増加、受注拡大へ向けた営業活動費用や配送費の値上げなどにより、製造経費及び販売費及び一般管理費が増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,967,246千円(前年同四半期は売上高3,965,452千円)、セグメント利益(営業利益)は193,772千円(前年同四半期比15.9%減)となりました。

品目分類別の売上高は次のとおりであります。

品目分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
トマト苗	1,221,000	99.0
キュウリ苗	1,061,475	101.2
ナス苗	375,124	95.5
スイカ苗	472,169	109.1
メロン苗	288,399	110.4
ピーマン類苗 (注1)	202,895	102.4
その他 (注2)	346,181	87.0
合計	3,967,246	100.0

(注1) ピーマン類として、ピーマン・パプリカ・シシトウ・トウガラシをまとめて表示しています。

(注2) 玉ねぎ苗、葉菜苗、花苗等を含んでおります。

規格分類別の売上高は次のとおりであります。

規格分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
ポット苗 (7.5cm~15cm) (注)	2,014,163	101.1
当社オリジナル (アースストレート苗、ヌードメイク苗、e苗シリーズ、高接ぎハイレグ苗、ウイルスガード苗、ツイン苗)	1,189,155	106.1
セル苗 (512穴~72穴) (注)	667,867	92.0
その他	96,060	75.9
合計	3,967,246	100.0

(注) ポット苗は、ポリエチレンのポット (ポリ鉢) で育苗した一般的な苗 (当社においては、主に断根接ぎ木苗にて育苗した苗) であり、ポットのサイズが大きくなると苗のサイズも大きくなります。セル苗は、小さな穴が連結した容器 (セルトレー) で育苗した苗であり、穴数が増えると苗のサイズが小さくなります。

納品地域分類別の売上高は次のとおりであります。

納品地域分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
北海道・東北	858,877	104.2
関東	1,314,649	106.1
甲信越 (注)	374,998	100.2
中部・北陸	270,537	97.7
近畿・中国	432,602	95.9
四国	349,894	85.2
九州・沖縄	365,686	93.9
合計	3,967,246	100.0

(注) 静岡は「甲信越」に含めて表示しております。

(農業・園芸用タネ資材販売事業)

当事業部門におきましては、伊予農産株式会社の決算期変更の影響により前年同期から減収となりましたが、オリジナル培土や肥料、種子の売上増加に加え、愛媛県内生産者向けに生産設備や農業機器などの売上が増加しております。損益面につきましては、伊予農産株式会社が前連結会計年度において11ヵ月間の売上高計上をしているものの、利益率の低い売上が増加したことによる売上原価率の上昇や仕入価格の値上げに加え、販売強化に伴う販促費用及び営業活動費の増加等により減益となりました。

今後も、株式会社むさしのタネの種子販売の拡大に向けた販売促進やオリジナル肥料等のサンプルワークによる営業活動を進めるとともに、農業関連メーカーとの商品開発や肥料メーカー等協力企業との連携を深めることにより商品ラインナップの充実を図ってまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高567,272千円（前年同四半期比20.4%減）となりました。また、セグメント利益（営業利益）は12,809千円（前年同四半期比64.1%減）となりました。

(小売事業)

当事業部門におきましては、コロナ禍の園芸ブームがひと段落したことに加え、イベント開催時の天候不順や7月以降の記録的な高温が続く中で来店客数が前年同期に比べて減少したことにより売上減となりました。

また、販売店舗の老朽化により一部リニューアルを行ったことによる修繕費の影響などから営業損失が増加いたしました。外商の強化や店舗販売でのマーケティングにより新商品の開発に繋げ、今後も、独自のイベント開催や情報発信を強化し、店舗の集客力向上による売上拡大と収益力の改善に向けて取り組んでまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高93,591千円（前年同四半期比8.2%減）、セグメント損失（営業損失）は9,719千円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）4,116千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産の合計は、前連結会計年度末と比べ53,232千円（0.9%）増加の5,725,478千円となりました。これは、現金及び預金の減少84,342千円、受取手形及び売掛金の減少54,173千円、電子記録債権の減少239,678千円、棚卸資産の増加433,843千円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比べ106,852千円（3.0%）増加の3,696,773千円となりました。これは、支払手形及び買掛金の増加126,884千円、電子記録債務の減少28,001千円、未払金の増加79,589千円、短期借入金の増加100,000千円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産の合計は、前連結会計年度末と比べ53,619千円（2.6%）減少の2,028,705千円となりました。これは、剰余金の配当及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しております。そのため、連結業績予想については2023年12月13日の開示時点から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,002,293	917,951
受取手形及び売掛金	982,205	928,032
電子記録債権	344,725	105,047
商品及び製品	97,666	120,115
仕掛品	76,214	397,463
原材料及び貯蔵品	182,647	272,793
その他	84,158	127,332
貸倒引当金	△8,816	△10,707
流動資産合計	2,761,095	2,858,027
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,669,826	1,579,157
機械及び装置(純額)	167,979	161,116
土地	685,641	721,007
その他(純額)	72,752	62,549
有形固定資産合計	2,596,198	2,523,831
無形固定資産	60,912	75,167
投資その他の資産	254,039	268,451
固定資産合計	2,911,150	2,867,451
資産合計	5,672,245	5,725,478

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	598,458	725,342
電子記録債務	74,797	46,796
短期借入金	600,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	343,251	325,686
未払金	192,612	272,201
未払法人税等	72,257	40,793
賞与引当金	62,750	34,226
その他	164,928	95,816
流動負債合計	2,109,056	2,240,864
固定負債		
長期借入金	1,127,571	1,120,783
退職給付に係る負債	15,804	14,936
資産除去債務	137,694	138,405
その他	199,795	181,784
固定負債合計	1,480,864	1,455,909
負債合計	3,589,921	3,696,773
純資産の部		
株主資本		
資本金	724,476	724,476
資本剰余金	605,759	605,759
利益剰余金	739,022	680,865
自己株式	△32,726	△32,726
株主資本合計	2,036,531	1,978,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,290	6,808
為替換算調整勘定	△6,244	△8,761
その他の包括利益累計額合計	△2,953	△1,952
非支配株主持分	48,746	52,284
純資産合計	2,082,324	2,028,705
負債純資産合計	5,672,245	5,725,478

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
売上高	4,779,704	4,628,109
売上原価	3,603,650	3,480,192
売上総利益	1,176,054	1,147,916
販売費及び一般管理費	1,267,773	1,299,558
営業損失(△)	△91,718	△151,641
営業外収益		
受取利息	93	29
受取配当金	758	910
受取手数料	7,776	8,379
貸倒引当金戻入額	2,059	1,539
補助金収入	8,266	4,971
受取補填金	8,080	10,610
その他	5,817	8,584
営業外収益合計	32,852	35,024
営業外費用		
支払利息	7,073	7,232
持分法による投資損失	2,489	2,156
過年度関税等	1,810	—
その他	3,600	1,183
営業外費用合計	14,974	10,571
経常損失(△)	△73,840	△127,189
特別利益		
固定資産売却益	33	36
補助金収入	35,813	37,889
受取保険金	1,876	69,147
特別利益合計	37,722	107,072
特別損失		
固定資産除却損	0	447
リース解約損	—	3,459
特別損失合計	0	3,907
税金等調整前四半期純損失(△)	△36,117	△24,023
法人税、住民税及び事業税	31,046	29,579
法人税等調整額	△28,947	△15,084
法人税等合計	2,099	14,495
四半期純損失(△)	△38,216	△38,518
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,703	3,537
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△40,920	△42,056

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
四半期純損失(△)	△38,216	△38,518
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,653	3,512
為替換算調整勘定	657	△2,951
その他の包括利益合計	3,311	561
四半期包括利益	△34,905	△37,956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△37,609	△41,494
非支配株主に係る四半期包括利益	2,703	3,537

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
減価償却費	191,231千円	180,140千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
前第3四半期連結累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	野菜苗・苗 関連事業	農業・園芸用 タネ資材販売 事業	小売事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じ る収益	3,965,452	712,350	101,901	4,779,704	—	4,779,704
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,965,452	712,350	101,901	4,779,704	—	4,779,704
セグメント間の内部売 上高又は振替高	7,939	20,821	5,897	34,658	△34,658	—
計	3,973,392	733,172	107,798	4,814,363	△34,658	4,779,704
セグメント利益又は損失 (△)	230,405	35,686	△4,116	261,975	△353,694	△91,718

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△353,694千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用等
であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	野菜苗・苗 関連事業	農業・園芸用 タネ資材販売 事業	小売事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じ る収益	3,967,246	567,272	93,591	4,628,109	—	4,628,109
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,967,246	567,272	93,591	4,628,109	—	4,628,109
セグメント間の内部売 上高又は振替高	5,825	15,695	4,196	25,717	△25,717	—
計	3,973,072	582,967	97,787	4,653,827	△25,717	4,628,109
セグメント利益又は損失 (△)	193,772	12,809	△9,719	196,862	△348,504	△151,641

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△348,504千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用等
であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。